

畜産みやぎ

発行所

名取市増田字柳田379番地1

社団法人 宮城県畜産会

電話 (382-8133)

編集発行人 大堀 哲

定価 1部80円

印刷所 (株)東北プリント



第8回ミルクレディーコンテスト (H9. 3. 22 フォーラス)

も く じ

平成9年度畜産課予算の概要と新規事業の紹介…… 2
 畜産経営関係情報データベース利用
 研修会開催される…… 5
 畜産試験場における平成9年度の試験研究計画…… 6
 鳥インフルエンザ…… 7
 第8回ミルクレディーコンテスト審査結果…… 7
 人の動き…… 8

平成9年度畜産課予算の概要と新規事業の紹介

宮城県畜産課

畜産は、平成3年4月の牛肉の輸入自由化や平成7年4月からのウルグァイ・ラウンド農業合意の受け入れに伴う乳製品の関税化や畜産物の関税率引き下げが実施され、新たな国際環境に対応した経営の体質強化が求められております。

このような情勢の中で、本県畜産の健全な発展を図っていくためには、生産者の主体的な取り組みと地域の特色や自主性を活かしながら、効率的で生産性の高い畜産経営体の育成、安全で高品質な畜産物の生産、畜産を主体とした地域の活性化を推進することが重要です。また、需給動向に即した畜産物の生産に向け、畜産物流通の合理化や銘柄化等を図ることが不可欠です。

これらを踏まえ、県では、21世紀を視野に入れた、牛乳乳製品及び牛肉の安定供給と酪農及び肉用牛生産の健全な発展並びに流通合理化を総合的に推進するために「酪農・肉用牛生産近代化計画」を策定するとともに、家畜の改良方針であり長期・技術的指標となる「家畜改良増殖計画」を策定しました。

このような計画実現に向けて、地域の動向を的確に促えつつ、意欲ある担い手の育成、和牛産肉能力検定で日本一となった「茂宗」を活用した高品質牛肉や価値感のある牛肉等、多彩な産地づくりや生産基盤の整備促進を図り生産性向上及び経営の安定を推進します。

また、環境保全型畜産基盤の総合的な整備、家畜保健衛生対策の強化を図るとともに、「仙台牛」、「宮城野豚（ミヤギノポーク）」などの県内産畜産物の銘柄化と消費、販売対策の推進、肉豚の価格安定対策、畜産物の安全性の確保、生乳流通合理化等各般の施策を実施することにより、畜産経営の体質強化や生産の効率化を支援します。

このような展開にあたっては、農林水産業や商工業等関連する諸分野や市町村、農業協同組合、畜産関係団体等との連携を強化し、畜産農家が希望と意欲と誇りを持ち創意と工夫に満ちて取り組むことができるよう、「新たな国際化に対応した畜産の展開」をスローガンに次の事項を重点目標として地域畜産を育む施策を推進します。

- | | |
|---|--------------------|
| 1 | 新たな時代に対応した肉用牛生産の振興 |
| 2 | ゆとりある先進的酪農経営の振興 |
| 3 | 産地間競争に打ち勝つ養豚の振興 |
| 4 | 畜産を支える生産、環境基盤の整備 |
| 5 | 高度な畜産新技術の開発、普及 |

平成9年度畜産関係予算一覧表

科目・事業名	本年度予算額(千円)
I 畜産総務費	731,939
II 畜産振興費	2,076,792
1. 家畜改良増殖事業費	146,609
2. 家畜改良対策事業費	9,873
3. 家畜導入事業費	10,813
4. 畜産高度生産技術実用化促進事業費	18,153
5. 畜産流通対策事業費	17,505
6. 地域畜産振興事業費	31,404
7. 畜産環境総合整備事業費	126,558
8. みやぎの快適畜産総合対策事業費	27,904
9. 畜産団体等育成強化事業費	18,056
10. 公共育成牧場対策事業費	126,355

科目・事業名	本年度予算額(千円)
11. 草地開発事業費	1,141,752
12. 自給飼料生産対策事業費	4,372
13. 流通飼料対策事業費	5,301
14. 学校給食用牛乳供給事業費	121,925
15. 生乳流通改善対策事業費	5,814
16. 酪農経営体質強化対策事業費	2,300
17. 畜産再編総合対策推進事業費	2,444
18. 肉用牛総合振興推進事業費	247,338
19. 養豚振興総合対策事業費	12,316
Ⅲ 家畜保健衛生費	184,541
1. 家畜伝染病予防事業費	50,425
2. 家畜保健衛生費	17,256
3. 家畜衛生事業費	116,860
Ⅳ 宮城の新生産調整推進対策事業費	28,300
合 計	3,021,572

以下、主要な平成9年度の新規事業を紹介します。

1 家畜市場再編整備事業

統合家畜市場の建設を円滑に推進するため、建設に係る課題の調査検討を行うとともに、生産者、市場開設者に対する指導調整を行う

- (1) 事業主体 県
- (2) 事業年度 平成9～10年度
- (3) 9年度予算額 300千円
- (4) 事業内容

- ① 家畜市場再編整備地域の指定に係る生産者、関係団体等との意見調整
- ② 家畜流通合理化計画の策定に係る打合せ会の開催
- ③ 計画の取りまとめ等

2 肉用牛振興施設整備事業

本県の肉用牛の生産体制を維持し、国際化の進展に対応した生産性の高い安定した肉用牛経営の推進と産地力向上に向けた取り組みを展開する。

- (1) 事業主体 農協、営農集団等
- (2) 事業年度 平成9～10年度
- (3) 9年度予算額 2,633千円
- (4) 事業内容

- ・肉用牛生産体制の整備強化、低コスト肉用牛生産を推進するための普及啓蒙。
- ・生産コストの低減、労働時間の短縮等肉用牛の生産性の向上に資する家畜管理用施設の実証展示。
- ・補助率：県1/3以下(標準事業費：2,400千円)。地区数：3ヶ所

3 畜舎尿汚水浄化処理施設整備事業

平成7年度から畜産試験場において、実証展示している回分式活性汚泥尿処理システムの早急な普及を図り、畜産農家の生産意欲の向上と環境負荷軽減に寄与しながら本県の畜産振興を図る。

- (1) 事業主体 市町村、農協、営農集団等
- (2) 事業年度 平成9～13年度
- (3) 9年度予算額 15,000千円
- (4) 事業内容

- ・泥汚水浄化処理施設の整備に対する補助
- ・1施設の標準事業費：15,000千円
- ・補助率：県1/3以下、市町村又は農協等10%以上。地区数：3ヶ所

4 畜産地域環境負荷軽減対策事業

畜産経営に起因する環境汚染の防止と経営の健全化を図るため、生産基盤の整備及び開発、家畜排せつ物の土地還元等適切な処理のための必要な施設を整備するとともに、河川の水質浄化のための浄化林等を整備する。

- (1) 事業主体 市町村、農協、営農集団等
- (2) 事業年度 平成9～11年度

(3) 9年度予算額 116,558千円
(4) 事業内容

区分	事業種目	補助率
基本施設	草地等造成整備改良, 道路整備改良, 施設用地造成, 水質浄化林・水路の整備, 畜舎施設周辺整備	国50%, 県20%以内
農業用施設	堆肥舎, 尿溜, 家畜排せつ物処理施設等整備	国50%, 県15%以内
農機具等導入	ふん尿処理機械	国50%, 県10%以内

5 草地基盤再編整備基本調査事業

耕作放棄地等の団地的集積による飼料生産基盤の拡大, 作業性能の向上に伴う生産単位の大規模化等に対応した飼料生産基盤の再編整備, 畜産環境への適切な対応, 地域の流通加工施設の再編整備及び畜産支援体制の確立に関する具体的方策について調査検討する。

- (1) 事業主体 県
- (2) 事業概要

地区	対象市町村	事業内容	事業実施期間	総事業費 (うち9年度事業費)
石巻北部	河北町, 北上町	地域現況調査, 草地基盤再編基本構想策定	年度 9~10	7,000 (3,500)

6 団体営草地開発整備事業

既存公共牧場の利用促進のため, 草地・用排水等の整備改良を行い, 大家畜生産振興の拠点として, その機能の向上を図る。

- (1) 事業実施地区概要

地区	実施市町村	事業内容 (9年度)	事業実施期間	総事業費 (うち9年度事業費)
鳴子	鳴子町営放牧場	草地保全整備 5.0ha 用排水施設整備 384m 隔障物 712m	年度 9	62,400 (62,400)

7 乳業再編推進対策事業

乳業の再編合理化を推進するため, 県乳業再編協議会を設置し, 各種事業を実施する。

- (1) 事業主体 県
- (2) 事業年度 平成9~12年度
- (3) 9年度予算額 300千円
- (4) 事業内容
 - ・乳業再編県計画の作成
 - ・乳業再編実行計画の作成
 - ・乳業者間の意見調整, 啓発, 普及指導
 - ・セミナー, 現地研修会
 - ・東北ブロック, 全国協議会との打合せ

8 畜産物衛生環境整備円滑化事業

県内で発生する家畜死体の処理が円滑かつ安定的に行われるよう収集, 運搬, 一時保管, 処理施設への搬出までの業務を環境に配慮し衛生的に実施する。また, 家畜死体の処理流通過程での公害発生を防止することによる, 処理委託農家の負担費の軽減を図る。

- (1) 事業主体 社団法人 宮城県家畜畜産物衛生指導協会
- (2) 事業年度 平成9年度
- (3) 9年度予算額 1,870千円
- (4) 事業内容

家畜死体冷却保管施設から排出される汚水の衛生的処理と, 死体運搬車の臭気対策としての密閉構造の実現。

(畜産経営係 鈴木秀彦)

動物用薬品器材のことなら
タックにご用命下さい。

株式会社 タック

本社 仙台市青葉区上杉三丁目3番8号
電話 022-225-7338(代)

仙台(営) 遠田郡小牛田町開成字館野28番
電話 0229-34-2018(代)

古川(営) 福島市矢矧町22番5号
電話 0245-36-2815(代)

福島(営) 須賀川市卸町3番
電話 0248-76-5177(代)

肉牛出荷, 素牛移動ストレス対策の栄養管理に!!

ルビックス
牛用混合飼料

S

アミノ酸, ビタミン, ミネラル強化混合飼料

農協 | 全農 | 経済連

正統の育ちと味

仙台牛

仙台牛銘柄推進協議会

仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済産食肉課課内 TEL 022(264)8449~50

畜産経営関係情報データベース利用研修会開催される

NOSA I 宮城

「畜産経営関係情報データベース利用研修会並びに中核畜産農家経営支援研修会」が2月28日、仙台市青葉区のNOSA Iビルで開催された。

この研修会は、NOSA I 宮城と畜産会が主催し、畜産関係機関の協力で中核畜産農家の経営にパソコンを活用して、飼養管理の効率化・経営の安定化を目指して頑張ってもらおうと開催され、今年で2回目。

県内で畜産に従事する農家の後継者と関係者ら女性3人を含む66人が参加した。

初めにNOSA I宮城加藤会長が宮城NOSA Iは全国に先駆け8組合体制となった。経営の基盤強化をはかり地域農業経営の安定に努めたい。内外の急速な経済・社会情勢の変化の中で関係機関団体が一体となって行う農業経営支援対策の一環としてこの研修会を開催した。なかでも、これからは畜産情報の高度利用による経営の戦略作りをどうするかが課題となっていく。NOSA Iとしては畜産関係機関・団体と一体となり損害を防止し、さらには生産性の向上を目指して、JMR指数(繁殖成績を数値で評価する)による繁殖管理システムの指導、代謝プロフィールテスト(牛群全体の健康検査)、搾乳立会による高品質乳の生産支援などを考えている」とあいさつ。

研修会は「コンピュータの最新動向と畜産への対応」「経営へのパソコンの利用方法」と題し、北原電牧株式会社の北原社長が講演した。

北原社長は「最近のパソコン機器は誰でもすぐ使えるものになったので、もうかる経営をめざして日常的に利用してほしい。経営には簿記より計画が大事なので、パソコンで、今までの試験とデータを生かして将来を予測しながら設計を立ててほしい」と話した。

同社のアンケート結果によると、パソコンは農業関係者にも急速に普及しているが、「取り扱いが面倒」「導入してもはっきりした利用方法を見つけられない」などの理由で活用できない人も多い。

「農業関係では、主に簿記を使っているがそれ以外でも個体台帳、繁殖管理、飼料計算もできるので経営をシュミレーションできる」と北原社長は強調した。

その後、2会場に分かれ研修を行った。第一会場ではインターネットの体験研修が行われ、実際にはホームページにアクセスを行い、画面に次々にだされる情報に参加者は興味深げに操作をしていた。

また、第二会場ではフリースランドの操作と畜産経営情報データベースの概要について説明し、その後実際にパソコンに向かい、繁殖管理台帳の入力データの活用方法などを実習した。

最後に、意見交換の場がもたれ、畜産関係機関や団体に対する要望や質問が出され、参加者からは「補助事業としてこれからパソコンを対象に考えているか」「もっと利用価値があると思うが、研修で使用したものと機器が違うと使い方が分からないので、個人ごとの指導をしてくれる部署がほしい」などの意見が出た。

参加者で名取市の菅野弘一さんは「情報機器はワープロ程度で、経営が大きくないので今のところパソコンが無くても不便はない。しかし規模拡大できれば活用して頭数を増やし、事故は減らすようにしたい。これからは覚えていたほうがよいと思う」と話している。

NOSA I 宮城の家畜部では「今後とも畜産関係機関・団体と連携し、畜産農家に対しての支援を継続して行ないたい。また、地区別にもこの研修会を開催する予定であり、きめ細やかに指導を行っていきたい」と話している。

(家畜課長 菊地 重夫)



WORLD トラクター

株式会社 五十嵐商会
 仙台市若林区卸町五丁目1番地4
 電話(022)236-2525(代表)

E クスリの総合卸

株式会社 E-シン
 EISHIN

取締役会長 山田 修 造
 取締役社長 竹下 正 則

本 社 〒980 仙台市青葉区木町通一丁目5-20 ☎022(267)7211
 事業本部 〒984 仙台市若林区卸町二丁目10-3 ☎022(284)8111
 古川営業所 〒989-61 古川市福浦字道の上137-1 ☎0229(24)1211

畜産の健康と未来に貢献する
 獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

小田島商事株式会社

本 社 岩手県花巻市卸町66番地
 TEL 0198 264151(代)

古川営業所 古川市清水字周防10-1
 TEL 0229-26-4567

花巻営業所 横手営業所 酒田営業所 帯広営業所
 盛岡営業所 青森営業所 福島営業所 家畜衛生食品
 大船渡営業所 八戸営業所 旭川営業所 検査センター
 大館営業所 山形営業所 札幌営業所

畜産試験場における平成9年度の試験研究計画

宮城県畜産試験場

1 方針

本県の畜産は稲作に次ぐ重要な基幹作目として発展してきたが、外的には自由化による畜産物の輸入の拡大・産地間競争の激化・消費者ニーズの多様化、生産現場においては、農業者の高齢化や後継者難による戸数の減少が著しく進行している。

こうした中で、本県の畜産の振興を図るためには、地域が一丸となった低コスト生産に資するための繁殖技術・飼養管理技術の確立とともに各畜種とも高生産性畜産物の生産による銘柄化を進める必要がある。

こうした背景のもとに、畜産試験場においては高能力の種雄牛・種雄豚の造成事業を引き続き推進するとともにDNAの多型マーカーを利用した高資質牛・豚の選抜技術の開発に本年度から本格的に取り組む。

また、牛における受精卵移植技術など先端技術の開発普及、放牧を利用した省力的管理技術の確立、豚においては人工授精技術や早期離乳分離生産技術の確立、DNAの多型マーカーを利用した抗病性家畜の選抜技術の開発を進める。

さらには自給飼料の高位安定生産を図るための技術や適切な環境保全に対応できるふん尿処理技術の開発に取り組む

① 酪農肉牛部

乳牛については、生乳生産性の向上を図るために、高泌乳牛群に対する飼料給与・ホルモンを用いた発情の同期化・生産病の予防技術の試験研究を行う。

肉牛については、高品質の種雄牛の造成や繁殖雌牛の総合的な育種価推定システムの構築、繁殖牛を省力的かつ低コストで飼養する放牧管理技術の確立に係る研究、肥育牛に対する飼料給与技術の確立の研究等を行う。

受精卵移植技術関係については、受胎率の向上に係る基礎研究と併せ対外受精に係る胚の培養・クローン胚の品質向上に資する研究を行う。さらにはDNAの多型マーカーを利用した高資質牛・抗病性に係る選抜技術の開発に本格的に取り組む。

② 種豚家さん部

系統豚“ミヤギノ”を利用した効率的な肉豚生産を行うためのより高い能力の雄型種豚(デュロック種)の造成を進めるとともに牛同様DNAの多型マーカーを利用した高資質豚・抗病性に係る選抜技術の開発に本格的に取り組む。また慢性疾病を予防するための親子分離早期離乳技術の開発、環境にやさしい豚飼養管理技術の確立のための研究を行う。

③ 草地飼料部

草地飼料については、自給飼料の低コスト高位生産と高品質粗飼料の安定確保を図るための優良品種の選定、飼料用作物の外来雑草防除技術の確立、環境保全を図りながら草地の生産力を高める簡易低コスト草生回復技術の確立試験を実施する。


環境資源関係については、回分式活性汚泥法による効率的な尿汚水の処理法を検討するとともに今後規制強化が見込まれる窒素・リン除去技術の検討に取り組むとともにふんについては、設備投資の少ない自動攪拌機を備えたビニールハウスによる簡易処理技術の確立に取り組む。

2 重点課題

- ① 生乳生産性向上のための飼養管理技術の確立
- ② 黒毛和種種牛育種システム効率化の研究
- ③ 牛体外受精に関する研究
- ④ DNA多型マーカーと牛・豚の生産形質及び遺伝的疾患との関連解析
- ⑤ DNAマーカーを指標とした牛・豚の育種手法に関する研究
- ⑥ 優良雄型種豚の選抜試験
- ⑦ 豚の肢蹄の強健性に関する要因の検討
- ⑧ 豚の分離早期離乳(SEW)技術利用の検討
- ⑨ 環境保全型草地の簡易低コスト草生回復技術の確立
- ⑩ 飼料作物の新雑草防除技術の確立
- ⑪ 簡易ふん処理技術の確立
- ⑫ 環境保全型尿処理技術の確立

(環境資源科長 佐々木秀夫)

畜産振興の明日を担う地方競馬



地方競馬全国協会

STAR マニユアスプレッタ

倍角ステアリングでラクラク作業



TBM1550+A DW1800 (倍角ステアリングボディ) (ディスクブレーキ)

STAR-農機株式会社 仙台営業所 〒985 多賀城市町前2丁目87 TEL 022-367-4573

●特徴 飼料の食い込み、飼料の消化吸収の正常化と悪臭防止など。35年間の販売と実績を誇る安全：天然野性酵母

Ferment Feed

ビタコーゲン

〒980 仙台市青葉区上杉一丁目16番3号 株式会社セイワ東北営業所 TEL (022) 215-3112 FAX (022) 213-7190

鳥インフルエンザ

仙台家畜保健衛生所

鳥インフルエンザは、トリインフルエンザウイルスA型によって起こる、主として鶏と七面鳥の急性伝染病です。特に血清型H5、H7または血清型H3もしくは高い死亡率を示す血清型は、家畜伝染病予防法で「家禽ベスト」として法定伝染病に指定されています。本ウイルスには、たくさんの変異株が存在し、株により病原性が異なります。したがって、鶏や七面鳥に強毒なウイルスでも野鳥に対しては毒性がほとんどないため、渡り鳥等によって本ウイルスが国境を越えて侵入し、家禽の生産に突然大きな打撃を与えることがあります。

わが国での本病の発生は、1996年12月に岩手県2農場で初めて確認されており、海外では、1996年3月に韓国での発生が報告されています。

本病の潜伏期はだいたい3～7日です。その期間の長短は、ウイルス株や感染ウイルス量、鳥の種類や年齢等によって異なります。症状は、ウイルス株の毒性の強弱や鳥の種類によって異なります。最も多くみられる症状としては、活気・食欲の消失、羽毛の逆立、呼吸器障害、産卵の停止、緑色水様性の下痢便等があります。成長した鶏では、鳥冠や肉垂が暗赤色もしくは暗紫色となり肥大し、頭部や顔面、時には頸部まで浮腫が現れることがあります。強毒性のウイルスの場合には、鶏や七面鳥に発症後24～48時間で高い死亡率がみられます。また、回復した鳥も予後は悪く、産卵が再開するまでに数週間かかります。弱毒性ウイルスの場合には、臨床症状は他の鶏病と全く見分けがつかず、死亡率も低い傾向にあります。しかし、他の病気の同時感染やストレスなどが加わると、病状は急激に悪化することがあります。

有効な治療方法はありませんので、予防を中心とした衛生対策が重要です。①農場への野鳥、特に渡り鳥、水禽の接近や侵入を厳しく防止すること。②農場への人や車両の出入りを厳しく制限すること。③消毒は徹底し繰り返し実施すること。④毎日の観察を念入りに実施し、本病の特徴的な病変に注意すること⑤異常に気づいたら、鶏や管理者の移動を制限し、まず家畜保健衛生所へ連絡を。

(病性鑑定課 高橋 伸和)

第8回ミルクレディーコンテスト審査結果

宮城県牛乳普及協会

第8回ミルクレディーコンテストは、去る3月22日フォーラスにおいて開催されました。

今回の審査は、書類審査(応募総数110名)を通過した10名が参加し、健康美をアピールする水着審査、特技の審査等を行った結果、下記の方々がミルクレディーに選出され、今後2年間県内のミルク関係のイベント等でお手伝いしますので宜しくお願い致します。

尚、ミスには副賞として、ハワイ旅行ペア御招待券、牛乳1年分他、準ミスには、10万円の旅行クーポン券、牛乳半年分他が贈呈されました。

ミス・ミルクレディー

氏名：田中麻衣子
年齢：21才
市町村：仙台市
職業：学生
趣味：テニス、スキー、絵画、裁縫 他

準ミス・ミルクレディー

氏名：森川 範子
年齢：21才
市町村：仙台市
職業：家事手伝い(自営)
趣味：読書、料理、スノーボード 他

準ミス・ミルクレディー

氏名：佐々木陽子
年齢：21才
市町村：仙台市
職業：学生
趣味：料理、音楽・映画鑑賞、スキー、スノーボード 他

(高橋 弘美)

ORION
ともに前進 技術のオリオン

酪農家の
声を反映した製品づくりと安心のおけるアフターサービスはオリオングループの誇りです。

東北オリオン株式会社
本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番88 ☎(022)284-0691
宮城県業務所 吉川市南田字泉原敷59-1 ☎989-61 TEL(0229)26-4330

動物用医薬品

**セレン配合
総合ミネラル固型塩**

錠塩セレン

日本全薬工業株式会社

TCM東洋運搬機

糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。畜産農家の近代化に作業の省力化に大きく貢献します。豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社
東北ティールシーエム株式会社
983 仙台市宮城野区中野字葉畔135-1
電話 022-259-6351

<人の動き>

宮城県

退職(3月31日付け) 農政部技術参事
 // 仙台家畜保健衛生所
 // 仙台家畜保健衛生所
 // 築館農林振興事務所畜産振興部兼迫家畜保健衛生所
 // 宮城県畜産試験場
 // 宮城県畜産試験場
 // 宮城県畜産試験場

加茂孝夫
 福田英里
 内方英里帆
 八巻春美
 加藤盛治
 加藤剛郎
 加藤昌信

平成9年4月1日付け

新	旧	氏名
農政部技術副参事	農政部技術副参事(宮城県農業公社畜産部長へ派遣)	佐々木 英 夫
農政部技術副参事(宮城県農業公社畜産部長へ派遣)	畜産試験場草地飼料部長兼農業実践大学校	荘 司 尚
畜産課技術副参事兼技術補佐	古川家畜保健衛生所技術副参事兼次長	秀 島 理 明
畜産課上席技術主幹兼衛生係長	仙台家畜保健衛生所技術主幹兼防疫課長	飯 瀨 良 廣
畜産課草地環境整備係長	畜産課畜産流通係長	菊 田 正 信
畜産課主幹兼畜産流通係長	企画部統計課主幹兼商工統計係長	高山 影 敏
畜産課主任主査	仙台中央県税事務所直税課長補佐	山 橋 章 一
肥飼料検査所技術主任兼農政部畜産課	古川地域農業改良普及センター技術主査	津 場 俊 行
畜産課技術主査	迫家畜保健衛生所技術主査	加 藤 伸 悦
畜産課技術主査	仙台農林振興事務所農業振興部地域農業振興室農産園芸係長	佐々木 宏 行
畜産課主査	土木部土木総務課	菅 原 隆 之
畜産課	宮城県畜産試験場	漆 山 昌 芳
畜産課	総合福祉センター	竹 田 真 二
大河原家畜保健衛生所指導課長兼大河原農林振興事務所農業振興部地域農業振興室企画員	石巻農林振興事務所畜産振興部畜産振興課長兼農業振興部地域農業振興室企画員兼仙台家畜保健衛生所	高 橋 健
大河原家畜保健衛生所防疫課長補佐	石巻農林振興事務所畜産振興部技術主査兼仙台家畜保健衛生所	山 田 稲 生
大河原家畜保健衛生所技術主査	畜産課技術主査	阿 部 総 明
仙台家畜保健衛生所技術主幹兼防疫課長	大河原家畜保健衛生所指導課長兼大河原農林振興事務所農業振興部地域農業振興室企画員	佐 藤 尚
仙台家畜保健衛生所防疫課長補佐	畜産課技術主査	岸 田 忠 政
仙台家畜保健衛生所主事(事務補主任)	婦人就業援助センター	神 野 キ ャ
古川家畜保健衛生所次長	畜産課上席技術主幹兼衛生係長	西 田 茂 子
古川家畜保健衛生所技術主査	迫家畜保健衛生所	福 田 智 典
古川家畜保健衛生所	迫家畜保健衛生所	千 葉 正 こ
迫家畜保健衛生所上席技術主幹兼防疫課長	築館農林振興事務所畜産振興部技術主幹兼畜産振興課長兼農業振興部地域農業振興室企画員兼迫家畜保健衛生所	峯 岸 正 こ
迫家畜保健衛生所防疫課長補佐	大河原家畜保健衛生所技術主査	石 澤 勝 嘉
迫家畜保健衛生所	新採用	高 橋 幸 治
築館農林振興事務所畜産振興部畜産振興課長兼農業振興部地域農業振興室企画員兼迫家畜保健衛生所	大河原地域農業改良普及センター地域指導課長補佐	菅 原 英 俊
築館農林振興事務所畜産振興部技術主査兼迫家畜保健衛生所	古川家畜保健衛生所技術主査	高 田 直 和

KOMATSU

カンタン操作で、
飼料も堆肥もラクラク作業



コマツ宮城株式会社
 仙台市宮城野区扇町二丁目1の30
 電話(022)(237)7441番代

動物用 (牛専用)
医薬品

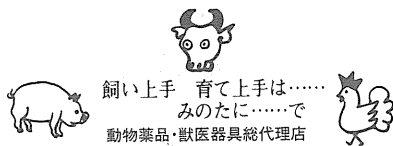
トルラミックS
 特殊酵母+必須ビタミン+ミネラル配合

株式会社 トーシン

古川市古川字上古川屋敷9番地の1
 TEL 0229 (24) 3 2 1 1 (代)

飼い上手 育て上手は……
みのたに……で

動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷



本 山 形 店 山形市蔵王成沢字町浦491-2 TEL.883121
 仙 台 店 仙台市太白区羽黒台31-14 1 6 TEL.063/4306
 鶴 岡 店 鶴岡市大字布目字東通り57-1 TEL.240963

新	旧	氏名
築館農林振興事務所畜産振興部兼迫家畜保健衛生所	古川家畜保健衛生所	小寺文
石巻農林振興事務所農業振興部地域農業振興室技術主幹兼企画員	畜産課草地環境整備係長	寺田守彦
石巻農林振興事務所畜産振興部畜産振興課長兼農業振興部地域農業振興室企画員兼仙台家畜保健衛生所	迫家畜保健衛生所防疫課長	阿部博行
石巻農林振興事務所畜産振興部技術主査兼仙台家畜保健衛生所	仙台家畜保健衛生所技術主査	柴崎卓也
畜産試験場草地飼料部長兼農業実践大学校	畜産課技術補佐	高橋喬一
畜産試験場総務課長補佐兼総務係長	石巻地方県事務所調整振興部出納室長補佐兼管理係長	畠山眞
畜産試験場酪農肉牛部バイオテクノロジー研究科長	畜産試験場酪農肉牛部受精卵研究科長	沼辺孝
畜産試験場技術主査兼仙北食肉衛生検査所	仙北食肉衛生検査所	鈴木正浩
畜産試験場	大河原家畜保健衛生所	遠藤潤里
畜産試験場	築館地方県事務所調整振興部出納室新採用	斉藤麻
畜産試験場技師(農場業務)	畜産課主査	尾形敏保
畜産試験場技師(農場業務)	畜産課技術主査	千葉美
商工労働部商工労働総務課主査	畜産課技術主査	志子田伸一
築館地域農業改良普及センター	畜産課技術主査	氏家哲信
古川地域農業改良普及センター	肥飼料検査所技術主査兼農政部畜産課畜産課	中鉢正篤
農業センター研究員	畜産試験場総務課長補佐兼総務係長	畑中知浩
本吉地域農業改良普及センター	畜産試験場主査	石川武典
迫土木事務所主幹兼用地課長	築館農林振興事務所畜産振興部兼迫家畜保健衛生所	阿部恵子
古川地方県事務所税務部主査	畜産試験場兼仙北食肉衛生検査所	鈴木修平
仙北食肉衛生検査所		小川ゆう子


宮城県農業公社

退任(3月31日付け)常務理事
 退職(3月31日付け)調査役兼岩出山牧場長

伊藤隆康
 谷村重義

平成9年4月1日付け

新	旧	氏名
専務理事	前宮城県農政部技監	加藤安良
宮城県農政部技術副参事	畜産部長(県より派遣)	佐々木英夫
畜産部長(県より派遣)	畜産試験場草地飼料部長兼農業実践大学校設計センター設計第一課課長補佐	荘司尚雄
畜産部基地建設課長	白石牧場次長	佐藤富良
白石牧場長	白石牧場長	松下一良
岩出山牧場長	畜産部基地建設課課長補佐	平間秀夫
畜産部畜産振興課課長補佐	仙南事業所工事課長	太田義夫
畜産部基地建設課課長補佐	畜産部畜産振興課課長補佐	佐藤武治
設計センター設計第一課課長補佐	岩出山牧場次長	渡辺進也
白石牧場次長	総務部経理課兼農地管理部管理課技師	佐竹浩也
畜産部畜産振興課技師	白石牧場技師	大内康彦
岩出山牧場技師		遠藤

飼料は  **まるきた印**

採卵鶏用配合飼料
 プロイラー配合飼料 肉牛用配合飼料
 乳牛用配合飼料


北日本飼料株式会社
 石巻市川口町3丁目2番8号
 TEL石巻 0225 (22) 6111
 FAX石巻 0225 (22) 6116

ビフィズス菌は
 ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。
活きたまま腸までとどきます。

ビヒダス
 ヨーグルト 500ml
 宮酪乳業株式会社 名取市飯野坂五丁目1番3号
 ☎(022) 384-5181

来客接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。



宮城県牛乳普及協会
 仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7688

宮城県経済農業協同組合連合会

平成9年4月1日付け

新	旧	氏名
参事	畜産部長	大森 芳 弥
畜産部長	経理電算部長	西條 将 志
経理電算部長	畜産部長次長兼飼料資材課長	和田 昌 功
総務部付仙台食肉加工事業(株)出向	大河原支所次長	佐藤 昌 念
総務部付宮城くみあい運輸(株)出向	仙台食肉事務所	菅原 二 耕
畜産部付統合家畜市場建設担当	家畜市場課長	菅岡 三 郎
生産流通課長兼飼料資材課長	生産流通課長	丹野 康 治
家畜市場課長	古川畜産事業所長	佐藤 和 文
食肉販売課長	食肉販売課長補佐	木村 伸 一
自動車課長	食肉販売課長	後藤 洋 明
食肉販売課長補佐	食肉販売課	小野寺 英 一
古川畜産事業所長	古川畜産事業所次長	那須 正 晃
古川畜産事業所次長	ミヤギノGGPセンター	菅原 金 一
佐沼畜産事業所次長	佐沼畜産事業所	伊藤 藤 禎
自動車課長補佐	佐沼畜産事業所次長	菊地 潔 弘
経理課	仙北食肉販売所	桜井 嘉 信
生産流通課	佐沼畜産事業所	後藤 久 美
家畜市場課	園芸資材課	伊相 沢 み や 子
食肉販売課	施設設計課	相橋 本 圭 三
食肉販売課	大河原支所	菅沢 沢 悌 也
小牛田畜産事業所	生産流通課	菅岡 キ エ 子
築館畜産事業所	佐沼畜産事業所	葛岡 海 伸 浩
佐沼畜産事業所	古川畜産事業所	

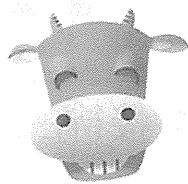
宮城県農業共済組合連合会

退職(3月31日付け)家畜部診療指導課副主幹

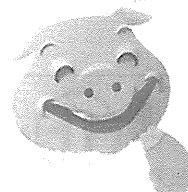
佐々木倫子

平成9年4月1日付け

新	旧	氏名
家畜部次長兼診療指導課長(地域担当)	中央家畜診療センター課長	武蔵 昌 文
家畜部診療指導課長補佐兼家畜課長補佐	建物農機具部建物課長補佐兼農機具課長補佐	伊深 安 信
家畜部診療指導課指導係長兼家畜課引受係長	家畜部家畜課引受係長	紺野 浩 一
家畜部家畜課技師	総務部情報化推進室技師	黒田 寿 隆
建物農機具部建物課技師	家畜部家畜課技師	早坂 貴 信
中央家畜診療センター次長兼庶務課長	家畜部診療指導課長	熊谷 敏 男
県南家畜診療センター損防課長	中央家畜診療センター診療課長補佐兼損防課勤務	水沼 敏 男
中央家畜診療センター診療課長補佐兼家畜診療研修所勤務	家畜診療研修所指導課長補佐兼中央家畜診療センター勤務	鈴木 利 行
中央家畜診療センター庶務課主幹	県北家畜診療センター庶務課主幹	鈴木 徳 子
中央家畜診療センター庶務課副主幹	家畜診療研修所庶務課副主幹兼中央家畜診療センター庶務課勤務	佐々木 康 子
県北家畜診療センター庶務課副主幹	中央家畜診療センター庶務課副主幹	佐野 小夜子



毎月29日は肉の日です



お肉は、私たちの体の血となり
肉となる、たいせつなタンパク源。
ビタミン、ミネラルも豊富な、
たいへん優れた食品です。

宮城県食肉消費対策協議会

〒981-12 名取市増田字柳田379-1 (社団法人・宮城県畜産会内)

電話 022-382-8133